



ななつかの風～

畜産技術センターニュース

発行事務局

●広島県立総合技術研究所
畜産技術センター技術支援部
〒727-0023
庄原市七塚町584番地
TEL 0824-74-0331
FAX 0824-74-1586

● 平成25年度獣医学術中国地区学会で、 畜技センターの2発表課題が 中国地区学会受賞！

平成25年10月12～13日に、平成25年度獣医学術中国地区学会が鳥取市で開催されました。

この大会の日本産業動物獣医学会（中国地区）において、47課題の口頭発表課題のうち、当センターの研究成果の2課題が、中国地区学会長賞を受賞しました。

平成26年2月21日～23日に千葉市幕張メッセで開催されるH25年度日本獣医師会獣医学術学会に中国地区の代表として参加発表します。

中国地区学会受賞の演題はつぎのとおりです。

「桑実期胚から採取した剥離細胞をドナー細胞とした核移植胚による 遺伝子胚診断とその種雄牛造成への活用」

日高健雅 副主任研究員

桑実期胚から細胞を剥離し、複数の同一遺伝子を持つ胚を作出し、その一つを用いて遺伝子診断を行いました。さらに、残りの胚を用いて受胎に成功しました。この技術は、受精胚の段階で遺伝子診断を可能とするシステムであり、種雄牛造成の生産効率向上に応用されています。

「地方病性牛白血病における垂直感染状況の実態について」

山本祐輔 研究員

一般的に、牛白血病の感染経路の一つである垂直（親から子への）感染の割合は数%程度とされていましたが、牛白血病陽性農場の18頭の産子の抗体検査、遺伝子検査を実施し、高い割合で感染が起きていることを明らかにしました。母牛のウイルス量が高いと垂直感染割合が高まること、後継牛確保のためには垂直感染対策が重要であることを示しました。

● 飼料イネ「たちすずか」の冬刈り収穫まったただ中！

植物体中のβカロテンを作為的に低下させた「たちすずか」の収穫（冬刈り収穫）が今まさに行われています（11月下旬～12月上旬）。

肥育牛への多量のβカロテンの給与は、高品質牛肉生産（霜降り牛肉生産）を阻害することがわかっています。そのため、「たちすずか」を低温条件に暴露して、βカロテンを低下させ収穫します。これは、糖含量が高く倒伏に強い「たちすずか」だからできる技術です。

専用収穫機（開発中）を用いた切断長は、従来よりも短く（6～10mm）、刈取圃場から効率的に運搬できます。また、バンカーサイロでの詰込密度も向上できることから、発酵品質も良好で、カビなどの不良発酵も抑制できると考えています。



微細断飼料イネの搬送



バンカーサイロ詰込



バンカーでの踏圧作業

● 広島県産和牛の魅力求めて、消費者アンケート実施！

広島県産和牛肉に魅力ある新たな項目を付与するために、消費者の皆さんを対象に、県立広島大学との共同研究でアンケート調査を実施しました。

近畿中国四国農研センター一般公開（9/28）、みのりの祭典（10/20）、ひろしまフードフェスティバル（10/26～27）で行いました。

「たちすずか」を給与して作った牛肉の試食コーナーもあり、多くの方々に回答をいただきました。

今後、調査結果を解析し、広島県産和牛肉の魅力を高めます。



試食コーナーに並ぶ皆さん

（近畿中国四国農研センター一般公開）

編集後記：

12月も後半になりました。冬の七塚はがらりと様子が変わり、寒さ厳しい形相を呈します。“新年が来れば良いことばかり”と期待をするのは、私だけではないでしょう。・・・SS